

自然に親しむ会だより

平成26年度を振り返って

会長 加藤 啓三

昨年度に続き平成26年度も沢山のことがありました。NHKBS プレミアム「鬼怒川紀行」が再放送されたほか、TBS テレビ「風の音」では、5月25日のシルビアシジミ観察会の様子が5分間放送されました。NHK 総合18時40分からの640（ろくよんまる）では、シルビアシジミ観察会とオオキンケイギクの抜き取り作業が紹介されました。シルビアシジミは、同局11時30分からの関東一都六県でも「貴重な蝶」として紹介されました。新聞等では本会の活動を、朝日新聞、読売新聞、下野新聞、さくら市の広報でとりあげてもらいました。

新しく作製した展示用パネルの利用については、さっそくさくら市立南小学校、宇都宮市立陽東中学校、三井住友信託銀行宇都宮支店にて活用しています。ありがとうございました。

本年度、本会行事に新しく CSR 活動（企業の社会的責任）として三井住友信託銀行宇都宮支店が参加してくれました。そして、氏家ロータリークラブ、白鷗大学山野井研究室、栃木県立さくら清修高等学校科学部、宇都宮市とさくら市の中学生が加わりました。

なお、栃木県立宇都宮白楊高等学校生物工学科の3年生が本会の活動に参加した体験をもとに、新潟大学に1名、宇都宮大学に2名、帯広畜産大学に1名の進学が決まりました。昨年の2名から倍増でした。自然保護に関心を持つ若者の育成に役立っている事を実感しました。

また、土木学会100周年記念事業の「市民普請大賞」（宇宙飛行士の毛利衛さんが審査委員長）に応募して、入選したこと（写真）に加え、栃木県ホンダ会より「とちぎ自然環境保護活動支援助成事業」に認定されたことは本会にとって大変有り難い事です。



シナダレスズメガヤの抜き取り作業に参加して

三井住友信託銀行宇都宮支店 吉川 航

平成26年10月12日、CSR活動の一環としてシナダレスズメガヤの抜き取り作業に当店も参加させていただきました。

CSRとは「企業の果たすべき社会的責任」のことで、生物多様性の喪失など社会の持続可能性の低下が懸念されている現代において、持続可能な社会の構築に貢献することを基本理念として当社では様々な活動に取り組んでいます。

そのひとつとして、全国に支店を持つ三井住友信託銀行は、それぞれの地域社会に密着した「生き物応援活動」を実施しています。宇都宮支店では、これまでうじいえ自然に親しむ会の加藤会長より資料を提供していただき、銀行のロビーにて栃木県に生息する希少な生物の紹介を行ってきました。私はCSR活動の担当者として、ただ紹介を行うだけでなく、自分達の手で生物多様性への貢献をしたいと思い、外来種のシナダレスズメガヤ抜き取り作業に参加させていただきました。

抜き取り作業に参加させていただき、なぜシナダレスズメガヤが鬼怒川で大量繁殖し、それによって鬼怒川に生息する生物にどのような影響が出ているのかを理解するとともに、地道な抜き取り作業の大変さ、鬼怒川河川の自然の美しさなど、実際に肌で感じることができました。作業実施後、当社ホームページのCSRブログに記事をアップし、うじいえ自然に親しむ会の活動や栃木県の尊い自然について多くの方に知っていただくことが出来た

他、下野新聞にも取り上げていただくことができました。

今後も継続的に抜き取り作業に参加させていただき生物多様性の保護に貢献して行きたいと思えます。



熟田小の児童から

うれしいメッセージをいただきました

さくら市立熟田小学校（玉村好明校長）の6年生が環境学習のため、平成26年10月21日に氏家大橋上流のカワラノギク保全地を訪れました。加藤会長による出前授業であらかじめ勉強を済ませた児童たちは現地での体験をこんな言葉で伝えてくれました。

『松田先生、こん虫のかんさつの時これまで知らなかった虫などを教えていただき、ありがとうございました。田代先生、植物のことをとてもくわしくわかりやすく、ていねいに教えてください、ありがとうございました。加藤先生、草のぬきとりなどの説明をていねいに教えていただきありがとうございました。シナダレスズメガヤをぬくのをもっとやりたかったです。』

『わたしはこん虫さがしが好きで、なにか虫を見つけるとすぐ行ってしまいます。虫はいっぱいいるし、草取りもできたのでとてもうれしかった。3月のスズメガヤ除去にも行ってみたいです。シルビアシジミ見たかった……。』

『加藤さん、松田さん、田代さん、日本ではあまりいないチョウをつかまえて、かんさつすることやいろいろな植物をみたりすることは、すごくてのしかったです。シナダレスズメガヤを除去することも、きょうなたいけんでした。』

『学校と鬼怒川での説明ありがとうございました。アキアカネやツマグロキチョウ、カワラナデシコなどたくさんの生き物がみつけられました。シナダレスズメガヤがこれ以上増えないでほしいなと思いました。』

『虫はかせと言っていいくらい、とても虫にくわしくてすごいとおもいました。ぬきとりさぎょうではカマキリを見つけられてとてもうれしかったです。私は自然を守っていきたいです。』
『後半では雨が少しふってしまいましたが、シナダレスズメガヤをたくさんとったので植物を守ることに少しは協力できたかな？とおもいました。』

『ミヤマシジミやヤマトシジミ、ツマグロキチョウなど貴重な生き物をみることができ、鬼怒川河川敷にはいろいろな昆虫がいることがわかりました。』

『最初は虫が苦手だったのですが、虫の説明を聞いたり、虫とりをしているうちになれてきました。おかげでいい自由研究ができました。』

まだまだ紹介したいのですがスペースが足りません。自然は未来からの預かりものといえます。私たちはそれを次代に伝えなければなりません。子供たちはそのことをしっかりと受けとめてくれたようです。

太陽ってすごい 氏家小児童が観察会

平成26年11月19日、さくら市立氏家小学校（橋本啓二校長）3年生の児童を対象に太陽の観察会がひらかれました。講師は本会の菊地庸夫理事。菊地さんは高根沢町石末の自宅に天体観測ドームを持つほか、毎月 JR 宝積寺駅前で星空観望会を開くなど、地域での天文知識の普及に努めています。この日、菊地さんが用意したのは黒点観測やプロミネンス観測などの太陽観測専用の望遠鏡。児童たちは菊地さんから太陽を観察するときは直接肉眼で太陽を見てはいけないことなど基本的な注意点を聞き、はじめてのぞく太陽のすがたに驚きの声を上げていました。以下児童たちの感想です。

『太陽のかんさつでわかったこと、はじめてしたこと、おどろいたこと、ふしぎに思ったことなどいろいろありました。はじめてのたいけんで、とてもおもしろかったです。』『太陽は6000度あるなんてしらなかったです。レンズで紙に太陽のねつをあつめて紙にあなをあけたところがすばらしかったです。』

『太陽に黒点やほのおがあることを教えてください。とてもわかりやすく楽しく学ぶことができました。』

『太陽はとてもあついですね。考えれば考えるほど調べたくなります。私もせんせいみたいになりたいです。いろいろ太陽のことをおぼえ、冬の理科研究にしたいです。』

菊地さんから児童たちに、この日の記念にと観測した太陽の姿をプリントしたブックしおりが贈られました。

（写真）

